

2003年

11月県議会

十一月定例岡山県議会は、十一月二十八日に開会し、十二月十八日まで二十一日間開かれました。日本共産党県議団は、森脇ひさき県議が一般質問に立ち、赤坂てる子県議が討論に立ちました。詳細は、県議団のホームページをご覧ください。



県立内尾センター(精神保健福祉施設)の存続・充実を

森脇ひさき県議が一般質問

県の第三次行財政改革大綱で廃止の検討対象とされた県立内尾センターの問題を取り上げた森脇県議は「精神障害者に対する施策を充実する方向で見直され、今年三月に策定した県障害者長期計画・第二次実施計画には、『民間施設との機能分担を図りながら、県立施設に求められている機能等に適切に対処します』と書かれており、内尾センターの廃止は同計画の趣旨に反する」と指摘し、同センターの存続を強く求めました。

石井知事は「地域生活支援などの機能について、民間施設が整ってきた。県の施設と民間施設の機能分担を図っていく」と答弁しました。

森脇県議は、同センターにはデイケア、ナイトケアに百五十人が登録し、一日平均五十人が通っていること、医療機関を転々とした末にセンターにたどり着いた患者が多いことなどを紹介し、「緑豊かで、運動場など障害者には欠かせない広い空間がある。ホステル機能(短期入所)もあり、介護をしている家族の都合を条件としないで、患者さんの都合で利用できるのも、患者さんが安心して家庭で過ごすことができる。予防にも力を入れているが、県の施設だからできることで、民間では難しい」と訴えました。

森脇県議はまた、青年の雇用拡大について、来年三月十二日までに改正職業安定法が施行され無料職業紹介事業が地方自治体でもおこなえるようになるにあたり、津山圏域雇用労働センターのような市町村が関係団体とも相談しながら若者の雇用サポートセンター、つまり、調査や相談、アフターケアなどができる専門の窓口を設置する取り組みに対して県が支援すること検討するよう求めました。知事は「このような事業に新たに組み込む市町村等があれば、岡山労働局と連携し、求人情報の提供や就職セミナーの開催等の支援に努めてまいりたい」と答えた。

「子どもの権利条約」採択14周年 「児童虐待防止法」施行3周年 にあたり、県に申し入れ

十一月二十日に申し入れた内容は、(1)県教委による各学校や教育機関への子どもの権利条約の周知徹底を急ぎ強めること。(2)子ども自身の意見表明、自分に関係することを決定するプロセスへの参加など、子ども自身の積極的な権利の行使を保障するよう、関係各機関への働きかけを強めること。(3)児童相談所、保健所、養護教諭、児童自立支援施設、児童養護施設など、子どもをケアする専門機関の拡充とともに人員を倍加するなど必要な体制を保障すること、(4)不登校や「ひきこもり」にかかわる民間団体のとりくみへの公的支援を拡充すること、などです。



質問項目

- ①イラクへの自衛隊派兵、憲法9条について
- ②福祉制度について
 - 1 障害者福祉
 - 2 成年後見制度
 - 3 乳幼児医療費無料化の年齢拡大
- ③県立内尾センターの存続を
- ④ハンセン病療養所入所者支援ボランティア養成講座への財政支援を
- ⑤青年の雇用拡大について
- ⑥足守川バイパスについて
- ⑦「竹村会」への公費支出について

謹賀新年



にひ
仁比そうへい
(参議院比例代表)

参院選勝利へがんばります

県議会議員

武田英夫

県議会議員

森脇ひさき

県議会議員

赤坂てる子

前衆議院議員

中林よし子
(衆議院比例代表)

自民党

強まる右翼的・県民要求敵視の姿勢

請願・陳情

会審議でパッサリ「不採択」に。これらの請願は、ここ数年を見てもおむね一部採択、継続審査とされてきたものです。

代表質問

今回の自民党の代表質問。イラクで亡くなった外交官に対する弔意より先に皇室への賀詞から始まり、イラク問題では「テロに負けるな」と強調。続いて、憲法「改正」論をおち上げ、最後は教育基本法の「改正」論に及んだ。

また、請願・陳情に関して、一九八九年より毎年何十万人分もの県民の署名とともに十二月(十一月)定例県議会に届けられてきた高校・障害児教育をよくする岡山県民の会の「三十人学級の実現など行き届いた教育を求める請願」、県私学助成をすすめる会の「私学助成の抜本的充実を求める請願」を今年は一回の議

2004年1月1日 No. 3 FAX(086)231-2187

日本共産党岡山県議会議員団 ☎(086)224-2111(内線 4056)

〒700-8570 岡山市内山下2丁目4-6 岡山県議会内

ホームページ <http://www.jcp-okayama-kengidan.jp>E-mail: kyosan@pref.okayama.jp

日本共産党 岡山県議会報告

教育基本法早期「改正」意見書は「不採択」を

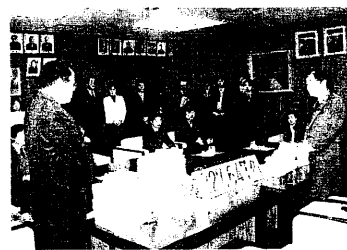


赤坂てる子県議が討論

討論に立つた赤坂県議は、人事院勧告に加えて県職員

に削減する議案に対し、労使で合意されたものではあるが県政のあり方に係る問題として「反対」を表明しました。その理由として、①人勤制度を否定するものであること、②県職員と家族に大変な負担をおしつけること、③民間企業の中には早くも運動して賃下げの動きがあり、勤労者の生活と景気悪化の悪循環をもたらすこと、④行財政改革のあり方として、チボリや吉備高原都市、足守川パイプライン化事業など不要不急の無駄遣いにメスを入れることを優先すべきであること、を指摘しました。

「三十人学級の実現など行き届いた教育を求める」「私学助成の抜本的充実を求



32万の署名を提出する「高校・障害児教育をよくなる会」と「県私学助成をすすめる会」の代表

2004年1～3月の議会日程（予定）

委員会の積極的な視聴を

1月15日(水)	各常任委員会	10時30分～	全員	2月19日(木)	環境対策 食の安全特別委員会	13時～	
1月20日(火)	決算特別委員会	10時30分～	森脇		地域振興特別委員会	13時～	
1月26日(月)	各常任委員会	10時30分～	全員		青少年対策 男女共同参画特別委員会	10時30分～	赤坂
1月27日(火)	決算特別委員会	10時30分～	森脇		行政改革 国体等特別委員会	10時30分～	武田
	環境対策 食の安全特別委員会	13時～		2月20日(金)	議会運営委員会	10時30分～	武田
	地域振興特別委員会	13時～		2月25日(木)	各常任委員会	10時30分～	全員
	青少年対策 男女共同参画特別委員会	10時30分～	赤坂	3月12日(金)	決算特別委員会	10時30分～	森脇
	行政改革 国体等特別委員会	10時30分～	武田		行政改革 国体等特別委員会	10時30分～	武田
2月5日(木)	各常任委員会	10時30分～	全員		青少年対策 男女共同参画特別委員会	13時～	赤坂
	議会運営委員会	13時～	武田	3月15日(月)	環境対策 食の安全特別委員会	13時～	
2月13日(金)	各常任委員会	10時30分～	全員		地域振興特別委員会	10時30分～	
2月18日(水)	各常任委員会	10時30分～	全員	3月16日(火)	各常任委員会	10時30分～	全員
2月19日(木)	決算特別委員会	10時30分～	森脇	3月18日(木)	議会運営委員会	10時30分～	武田

2月定例県議会は 2月27日(金)開会 3月19日(金)開会の予定。代表質問は3月3・4日。一般質問は5・9・10・11日の予定。日本共産党からは 赤坂てる子県議が一般質問。武田英夫県議が討論に立つ予定。討論・陳情の受付は 3月2日より。代表質問は3月3・4日。一般質問は5・9・10・11日の予定。日本共産党からは 赤坂てる子県議が一般質問。武田英夫県議が討論に立つ予定。討論・陳情の受付は 3月2日より。

主な議案と請願・陳情の結果

【議案関係】	共産	自民	民進	公明	無	結果
岡山県職員給与と条例等の一部を改正する条例 —人事院勧告の実施—	○	○	○	○	○	○
知事等及び職員の給与の特例に関する条例 —人勤に上乗せして給与を削減—	×	○	○	○	○	○
森林の保全に係る県民税の特例に関する条例 —森林保全税の導入—	×	○	○	○	○	○
岡山県立高等学校設置条例の一部を改正する条例 —高校統廃合—	×	○	○	○	○	○
国連中心の平和的な復興支援対策が整うまでは、イラクに自衛隊を派遣しないことを求める意見書 発議：民主・県民クラブ	×	×	○	×	×	×
教育基本法の早期改正を求める意見書案 発議：自民党	×	○	×	×	○	○

※ ○賛成、×反対

【請願・陳情】	共産	自民	民進	公明	無	結果
「児童の権利条約」の趣旨に沿って、父母負担の公私格差を正すと私学助成政策の抜本的拡充を求めることについて（岡山県私学助成をすすめる会）	○	×	○	○	×	×
行き届いた教育を求めることについて（高校・障害児教育をよくなる岡山県民の会）	○	×	○	○	×	×
有事関連法の発動と自衛隊の海外派兵に反対する意見書提出を求めることについて（岡山県労働組合会議）	○	×	×	×	×	×
年金改悪反対、大増税の中止を求めることについて（岡山県労働組合会議）	○	×	×	×	×	×
国立病院の独立行政法人化に当たり、賃金職員の雇用継続と医療・看護体制の拡充、国立ハンセン病施設の充実、拡充を求めることについて（全医岡山地区協議会）	○	×	○	○	×	×
単県医療費公費負担制度の充実を求めることについて（岡山県生活と健康を守る会連合会）	○	×	×	×	×	×
全ての障害者が自立できる生活を求めることについて（障害者の生活と権利を守る岡山県連絡協議会）	○	×	×	○	×	×
岡山県行財政改革大綱における岡山県立内尾センターの廃止に関することについて（岡山県立内尾センター家族会）	○	×	○	○	×	×
障害児教育を充実させるための条件整備を求めることについて（岡山県高等学校教職員組合）	○	×	×	×	×	×

※ ○採択、×不採択

イラク問題での民主クラブの態度に異議あり

武田英夫県議の「いのしし日記」メモ



県議会に岡山県労働組合会議（県労会議）から「有事法制の発動と自衛隊の海外派兵に反対する意見書提出を求める」陳情が提出されている。これに対して、わが会派が賛成であることは当然で、一方、自民・公明が真っ向から反対の態度である。問題

は民主・県民クラブの態度である。総務委員会では「継続」そして「不採択」の態度をとった。そして、次に自らの態度を明らかにした「意見書案」を持ち出してきた。タイトルは「国連中心の平和的な復興支援体制が整うまでは、イラクに自衛隊を派遣しないことを求める意見書」というもの。日本語の率直な読み方では、「平和的復興支援体制が整えば、自衛隊派遣は認める」というも

森林保全税の条例案に「反対」

森林保全は重要

森林は県上の保全、水源の涵養、地球温暖化の防止、地球環境にやさしい資源であり、将来にわたって守り育てるべき県民共有の財産であり、日本共産党県議団は、森林保全の重要性は当然の立場です。

今議会で「反対」した理由

わが党は、森林保全を推進するための新税導入を否定しません。しかし、今回の提案には様々な問題点があり、もともと県民の議論に時間をかけるべきであり、時期尚早です。①高知県が同じ方式（個人の県民税均等割に5%、市町村に上乗せする超過課税方式）を採用しましたが、森林保全の税金」という意識が希薄になることが報告されている。②現在の不況下で低所得者にとっての増税感は大変なものがある。等

ので、あくまで自衛隊の派兵を認めないわが会派が賛成できないことは明らかである。そもそもこの主張は憲法違反である。いかなる理由であれ、自衛隊を外国に派兵することなど憲法は認めていない。民主党の「イラク特措法ならダメだが、PKO法なら派兵してもよい」という考えが基本にあるのだらうが、それは憲法のなし崩し的改悪である。しかも、この意見書はイラクの復興にも逆行する。国連中心の平和的復興体制が出来上がったとき日本が何をなすべきかは明らかであり、平和復興に向かうイラクにアメリカの目下の同盟軍である自衛隊を送るなど、危険を再燃させる以外のなものでもない。